

	広島大学 保健系分野 (薬学)
学部・研究科名	薬学部 (薬科学科 (4年制) : 22名、薬学科 (6年制) : 38名) 医歯薬保健学研究科薬科学専攻 (M: 18名、D3 : 3名) 医歯薬学専攻薬学専門プログラム (D4 : 3名)
沿革・設置目的	薬学に関する教育・研究を行うことを目的とし、広島大学医学部薬学科を経て、平成 18 年、広島大学薬学部が設置された。 昭和 24 年 (1949 年) 広島大学設置 昭和 44 年 (1969 年) 広島大学医学部薬学科設置 (昭和 52 年 (1977 年) 医学部総合薬学科に改組) 昭和 48 年 (1973 年) 広島大学大学院薬学研究科設置 (昭和 57 年 (1982 年) 大学院医学系研究科、平成 14 年 (2002 年) 大学院医歯薬学総合研究科、平成 24 年 (2012 年) 大学院医歯薬保健学研究院及び大学院医歯薬保健学研究科に改組) 平成16年 (2004年) 国立大学法人に移行 平成18年 (2006年) 広島大学薬学部 薬学科 (6年制)、薬科学科 (4年制) を設置
強みや特色などの役割	○ 広島大学の理念等に基づき、本学部の伝統である医学部、歯学部との連携を活かして、自ら課題を発見し解決できる指導的薬剤師、地域の医療全体を牽引する薬剤師を養成するとともに、国際的に活躍できる研究者・技術者、次世代医療開発者などの育成を目指す。 ○ 患者志向で倫理観や使命感を育てる教育プログラムや地域医療実習、卒前・卒後を通じた多職種連携等の取組を推進するとともに、その成果を国内外に積極的に発信し、薬学教育の質の向上に貢献する。 ○ 医学分野・歯学分野・他大学との連携などを活かし、食品機能性臨床評価や臨床情報医工学の取組等をはじめとした創薬研究、産学官連携、人材育成、社会貢献活動を積極的に展開する。